

■桂昌院(藤原宗子)
けいしょういん
紫衣勅許無効1627=

3代将軍徳川家光の側室。子が5代将軍綱吉になり、「生類憐令」など、国政にまで影響を及ぼした。

京都堀川通で、八百屋仁左衛門の娘に生まれる。母は鍋田氏。初名を宗子、光子。

徳川秀忠没・1632= 5歳 :

仁左衛門の死去後、母は娘2人を連れて公卿一条家の家司本庄太郎兵衛宗利(宗正)のもとに奉公、のち宗利の後妻となる。

東照宮社殿・1636= 9歳 :

娘2人のうち姉は一条家の家司大宮宗賀に嫁いで瑞光院といい、妹がお玉の方すなわち桂昌院である。本庄家は北小路氏をも称し、京都賀茂神社の社人といわれる。

家光鎖国完成1641=14歳 :

関白鷹司信房の娘が家光の正室として入興する時に従ったとも、側室お万の方(慶光院)の縁故によったともいわれるのを契機に、春日局の計らいで家光の側室となり、秋野またはお玉の方と称した。

..... 1645=18歳 : 亀松,
..... 1646=19歳 : 徳松を生む。
..... 1647=20歳 : 亀松は2歳で早世,

徳川家光没・1651=24歳 : *家光の死去に伴い、落飾して桂昌院と称した。御遺金2000両。

野郎歌舞伎始1653=26歳 : 徳松は無事に育ち、元服して綱吉となる。

隠元黄檗宗・1654=27歳 :

明暦の大火・1657=30歳 :

殉死禁止・・・1663=36歳 :

酒井忠清大老1666=39歳 :

東西海運確立1672=45歳 :

徳川綱吉将軍1680=53歳 : *綱吉が4代将軍家綱の養嗣子となったことから、桂昌院は綱吉とともに館林藩邸から江戸城三の丸に移り、同年、綱吉の5代将軍就任で本丸に、やがて五の丸に入った。

護国寺・・・1681=54歳 :

堀田正俊暗殺1684=57歳 : 従三位に叙される。

桂昌院は溫柔で慈しみのある性格で、深く護持院隆光の仏教に帰依して幕府祈願所護国寺を建て、生類憐みの令を発するにも力があつた。しかし僧侶の大奥出入りが繁くなり、風紀が紊乱するもをつくつた。また異父弟本庄宗資を大名にするなど、一族縁者の幕臣への取立ても目覚ましかつた。

奥の細道・・・1689=62歳 : 三の丸に移居。

湯島聖堂・・・1690=63歳 :

生類憐令頂点1695=68歳 :

..... 1699=72歳 :

赤穂浪士事件1702=75歳 : 従一位に叙される。

御蔭参流行・1705=78歳 : 二の丸において、_没した。